

農業高等学校及び農業大学の教職員の皆さまへ

学校農場における 農場HACCP構築のメリット紹介

こんなお悩み
ありませんか？

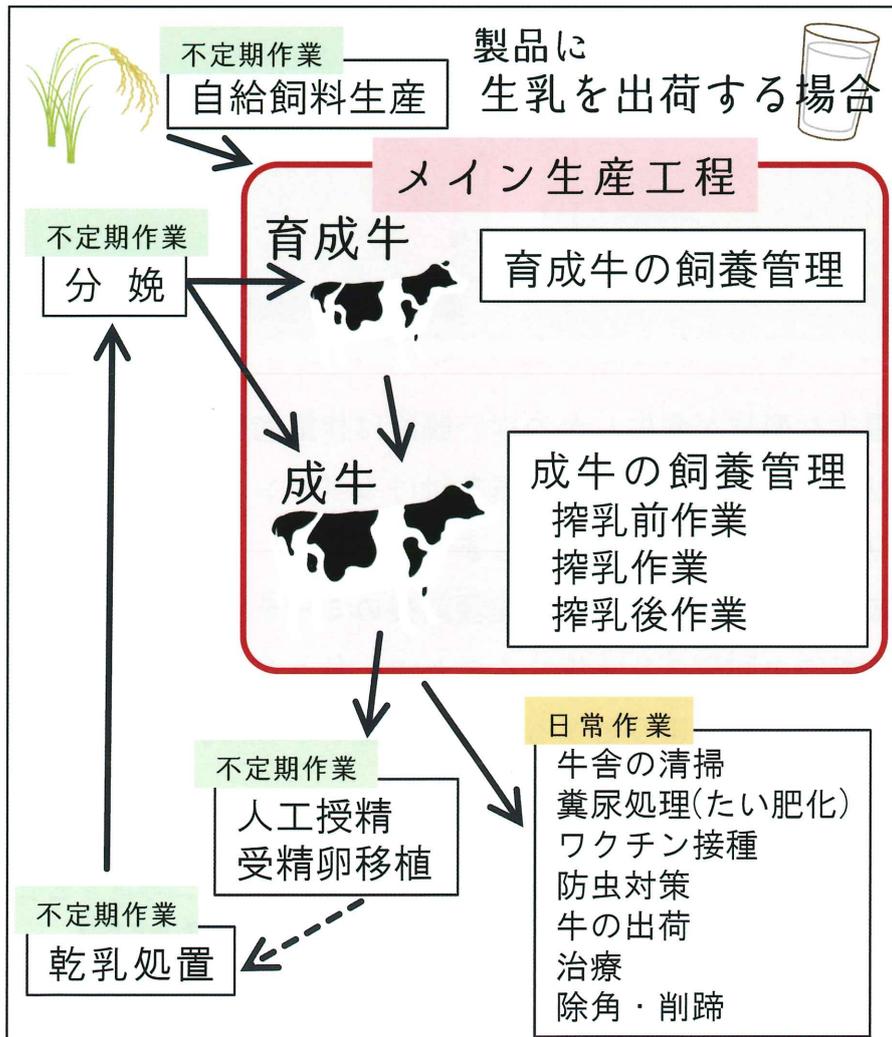


- 赴任先で初めて畜産科(畜産担当)に配属された
- 生徒や教職員の入替のたびに病気が蔓延した
- 飼養管理や繁殖管理が前任者の感覚頼りだった
- マニュアルが無く引継ぎがうまくいかなかった
- 貼付されている情報が最新ではなかった

などなど

それ、

農場HACCPの構築で改善されるかもしれません！



このように、
農場HACCPの構築は、
現状の全ての作業を
明確にし、文書化するため、
次のメリットが考えられます。

メリット1

全ての作業がマニュアル化され、
曖昧な手順が無くなります！

メリット2

原材料・作業工程において
危害要因を列挙・分析する
ことで、予防手段を講じ
ることができます。

メリット3

停電や地震等の不測の事態が
起きた場合は、速やかに対応
できるように事前に手順を
確立するため、落ち着いて
対処することができます！

学校農場における 農場HACCP認証農場取組事例

農場HACCP認証取組事例集
(令和5年度版)より、一部抜粋



農場HACCP導入後の効果

農場HACCPを導入したことで様々なことの“見える化”と“マニュアル化”をすることができました。

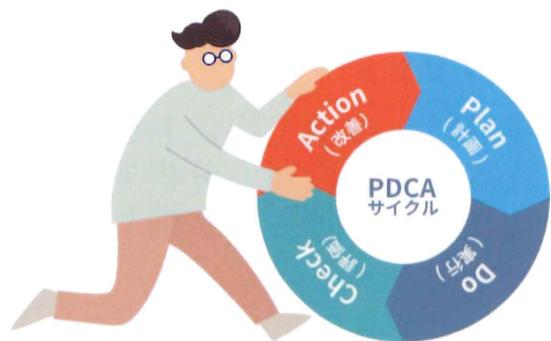
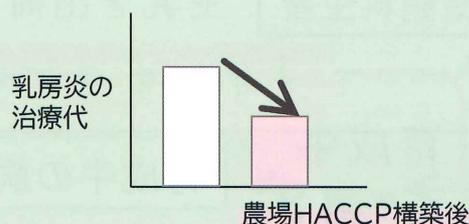
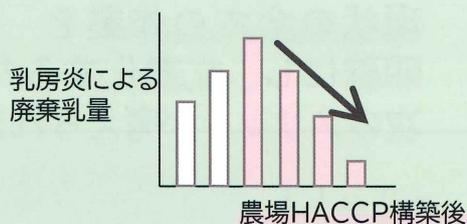
また、毎年違う生徒が履修する授業においては、職員も一緒にOJT（教育訓練）を繰り返すことができるため、意識して管理作業に当たることができるようになりました。



最も効果を実感する点は、学生と職員の衛生管理意識の向上です。

従来からあった畜舎当番日誌に加え、職員は職員間で情報共有する畜産班打合せ記録を毎日記録するようになったことで、生産物の安全管理に関して今まで以上に意識する機会が増えたと実感しています。

また、農場HACCP構築により薬剤の在庫管理を適正に実施した結果、乳房炎による廃棄乳量が取組み開始から減少しはじめ、乳房炎治療薬代も減少しました。



重大な事故が発生しかねない箇所は作業前後のチェックリストを設けることで、気を付けるポイントが明確になり、うっかりミスが減少しました。

また、学生と職員の間で実習前後のミーティングや当番交替時の引継ぎを実施することで、各々が管理の状況を適確に把握しようとする意識が向上しました。

公益社団法人

中央畜産会

JAPAN LIVESTOCK
INDUSTRY ASSOCIATION

お問い合わせ

公益社団法人中央畜産会 管理部

担当者 金子・月井

☎ 03(6206)0840

✉ kyoiku_haccp@sec.lin.gr.jp

畜産教育支援事業の
ホームページはこちら

